

前列左から睦夫さん、トシさん
後列左から忠基さん、二男さん



満員の会場にはたくさんの笑顔



聞き惚れるほどの歌謡曲を披露し、控え室で一息ついていたのは、カラオケ同好会の工藤睦夫さん(岩野目)、松田二男さん(南町)、佐藤忠基さん(出口)、齋藤トシさん(出口)。

月2回、早口一分館で歌を楽しんでいるそう。「歌うのが好きなばかり。まつりでは毎年交代で歌うけど、今回は私と二男さん」と睦夫さん。二男さんは、ステージでは何回歌っても緊張するんだよ。皆さん

いろいろな大会に出場する実力者だそうで、睦夫さんはなんと27年前に市民文化会館で行われた「のど自慢」の最初の合格者。「あの時は、鐘はいくつ鳴ったんだか笑」。

歌うのが楽しいというトシさんは、歌うと身体の調子もいし、若返りの秘密よ。おひねりも上がってましたけど、「知らないかたからもらったから、びっくりしたな。聴いてくれてありがとうって思ったよ笑」と二男さん。今度は、私もおひねりをたくさん持っていきます。

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

募集

ご町内でのイベントをお知らせください。取材に伺います。広報広聴係 ☎43-7025

これまでの
登壇者数 625人

81,748人
(H21.3.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせ、もじったものです。



操さんの「ばちさばき」に会場は盛り上がりました

盛んに笑顔で拍手を送っていたのは、松田操さん(羽立)。「民生委員から招待券を受け取り、雪が降った頃から楽しみにしてたんだ。新しい楽器二胡やマンドリンもあつて、おもしろいもんだな」。観客の1人と思っていたいた操さん。アララ、なぜかはなんてん姿で登場?! どうしたんですか? 「太鼓を叩く人がいないって言うもんだから」とステージに。聞くと操さんは、田代公民館で活動している、田代町民謡同好会の先生とのことでした。演奏が始まると、操さんの大きく振りかぶる「ばちさばき」に、会場は大盛り上がり。この日一番の拍手だったかも。

観客も出演者も地域の顔見知りで大いに盛り上がったチャリティー芸能まつり。この日を楽しみにしている皆さんのためにも、これからもずっと続いて欲しいですね。では、次回もあつてグッド!

まつりを楽しみにしていた操さん